

震度5強の地震を想定した防災訓練

1. 目的等

- 地震発生時における初動体制の確認や職場の災害対応能力の向上
- 被災状況の情報収集や関係機関との情報伝達が、迅速かつ円滑に実施されるかを検証
- 検証結果を基に、応急対応マニュアル及び体制の改善

2. 日時

令和3年1月15日（金） 13時10分から16時30分

3. 気象要因等

マグニチュード7.2、糸道湖南方断層、震源の深さ約10km
震度5強 松江市、安来市、雲南市

4. 訓練目標

- 道路パトロール及び河川等の施設点検を県災害対策本部設置から2時間以内に完了
- 施設点検結果等を3時間以内で、土木部災害対策本部に報告すると共に、関係機関との情報共有

5. 訓練内容

- 災害調査班（職員）による道路パトロール及び緊急点検〔河川、土砂災害（急傾斜、治山）、ため池、県営住宅〕
災害調査班（維持5班、土木4班、農村1班、治山1班、建築1班）
- 情報伝達訓練〔現場から電話による伝達、タブレットによる被災情報の送信〕
- 松江市からの情報収集訓練（松江市にリエゾン派遣、使用機材無線及びタブレット）

6. 参加機関

島根県：県庁土木部（土木総務課）、松江県土整備事務所
松江地区災害対策本部関係機関

松江市：防災安全部防災安全課

（一社）島根県松江地区建設業協会及び加盟会社（17社）



【訓練状況写真】